

CTC杯 デイリースポーツ杯 FI



11/18(土) 19(日) 20(月) ナイター開催 川崎スポーツ

レース展望

11月18日からの川崎競輪はF1ナイター開催。S級もA級戦も東日本と中部、近畿地区からのあっせんとなった。リニューアルした川崎バンクでの開催もこれが5戦目。そろそろ傾向も見えてきたところで、じっくりと車券の検討をしていきたいところだ。

S級戦は飛び抜けた存在は無く接戦。地元南関東地区は機動型が不足している印象だが、地元の嶋津拓弥(神奈川103期)の奮闘に期待したい。いざとなれば自力で勝負する場面もありそう。強力なのは近畿勢。岡崎智哉(大阪96期)に高久保雄介(京都100期)、更には2班ながら山本伸一

(奈良101期)と、経験豊富な機動型が揃っており充実している。これだけ近畿勢が充実していれば、中連係できそうな岡本総(愛知105期)にもチャンスが巡って来そう。北日本を率いるのは根本哲吏(秋田97期)で、佐藤和也(青森95期)と共に優勝戦線に浮上することも。関東勢は河村雅章(東京92期)や柿澤大貴(長野97期)らの決め脚が強力だが、予選から山本勝利(東京117期)や中島詩音(山梨119期)が勝ち上がれば更に戦力が増してきそう。

A級戦は戦力が分散して激戦となりそう

だ。地元南関東地区からは菊池竣太郎(静岡111期)が参加しており、自在な走りシリーズの中心となる。地元の川田忍(神奈川87期)も急激に調子を上げている。遠征勢には額額洸翔(愛知121期)がいる。豪快な先行、捲りで浮上してきそう。北日本勢には積極的な走りが魅力の菅野航基(宮城119期)に、三浦翔大(宮城98期)、関東には先行基本にまくりも決まり出している中村隆生(栃木117期)が居る。どの地区にも軸となる機動型が揃っているの、優勝争いは激戦となりそう。ハイレベルな戦いが見られそう。

近畿ライオン強力も波乱十分

S級 主力選手



嶋津拓弥 神奈川 103期

今シリーズは南関のS級1班は嶋津拓弥の1人だけとなる。地元戦で期待が懸るところだ。近況は自力勝負する機会が減っているが、機動型不足の今開催は流れ次第で自ら動いて出ることにも十分にありそう。103期ナンバーワンの高素質を持つ嶋津に期待したい。

S級 主力選手



岡崎智哉 大阪 96期

「まだまだ本職は自力だと思っているので」と話していた岡崎智哉だが、近況は番手を回る機会が多くなっている。長年自力で戦ってきた岡崎だからこそ、前を庇う献身的な援護が目立つ。追い込みとしてのスキルはまだだが、ラインを重んじる走りは魅力十分。

S級 主力選手



根本哲吏 秋田 97期

近況はめっきり逃げる機会が減り、バック本数も逃げの決まり手もほぼ無い根本だが、本来はしっかりと長い距離を踏める脚質が魅力。自力で飛び抜けた存在が居ない今シリーズであれば、流れ次第で先行することも十分にありそう。北日本の中軸としてフル回転。



A級 注目選手

菊池竣太郎 静岡 111期

今期はA降級となった菊池竣太郎だが、自力自在の走りで抜群の安定感。「自分が自力選手だなんておこがましい。自在に何でも」と話す菊池だが、先行、捲りの自力だけでも十分に通用する。そのうえヨコの動きにも対応できるので、A級では弱点の少ない選手。



A級 注目選手

額額洸翔 愛知 121期

121期の卒記チャンプの額額洸翔(愛知)が当地初登場。来期はS昇級が決まっており、A級ではトップクラスの機動力を持つ。長い距離も踏めるし、捲りも強烈。前期は8連勝してS級特進に王手を掛けるなど、抜群の機動力を持つ今後の成長が楽しみな若手だ。

対馬太陽神奈川選手会支部長に聞く川崎新バンクガイド



対馬太陽選手(神奈川85期)

バンクやスタンドの改修が行われた川崎バンクは、かなり特徴に変化が見られそう。ホームバンクの南関東地区本部長でもある対馬太陽選手(神奈川85期)に聞くと「バンクがきれいになり、走路のガタツキが取れて、クセも無くなり走りやすくなった。あとはホームの向かい風が少し強く感じるようになった気がします」と話す。同じ南関東地区なら、平塚や静岡競輪場に近付いたイメージで最初は予想してみたい。

競輪は適度に楽しみましょう。車券の購入は20歳になってから。